

第457回 難研セミナー 第30回 難治疾患共同研究拠点セミナー

下記により難研セミナーを開催いたしますので、多数御来聴下さい。

記

日 時：平成23年9月9日（金） 17：00～19：00

場 所： 3号館18階 保健衛生学科：講義室1

演 者：林 秀樹 先生
(熊本大学・大学院先端機構・代謝病態学分野)

演 題：アポリポ蛋白E含有リポ蛋白の中樞神経障害に対する役割

要 旨：

中枢神経系の脂質代謝および脂質輸送系は血液脳関門によって抹消循環と隔てられているため、独自の調節機構を備えている。中枢神経系の脂質輸送の中心的役割を担っているのが、アポリポ蛋白（アポ）含有リポ蛋白であり、このリポ蛋白はグリア細胞から放出される。近年、中枢神経系のアポE含有リポ蛋白に含まれるコレステロールがシナプス形成を促進することや、低比重リポ蛋白（LDL）受容体ファミリーの受容体が神経細胞の遊走に関与することなど、これまでに知られていた役割に加えて中枢神経系の様々な脂質関連分子の新たな役割が明らかとなってきた。私はこれまでの研究で、グリア細胞由来アポE含有リポ蛋白が、LDL受容体のファミリーの一つであるLDL receptor-related protein 1(LRP1)を介して細胞内シグナル伝達を強力に抑制すること、および軸索切断後の最伸長を促進することを明らかにした。さらに最近、グルタミン酸神経障害に対するアポE含有リポ蛋白の作用も検討したので紹介する。これらの成果はアポE含有リポ蛋白の中樞神経系における重要性と新たな役割を示す物である。

連絡先：分子神経科学分野 田中 光一 （内線5846）

共催：神経病理学分野 岡澤 均